



# サロンあべの

## 安倍野区民祭り

# あべのカーニバル

なんでも市通りには

# 「さろん亭」出店

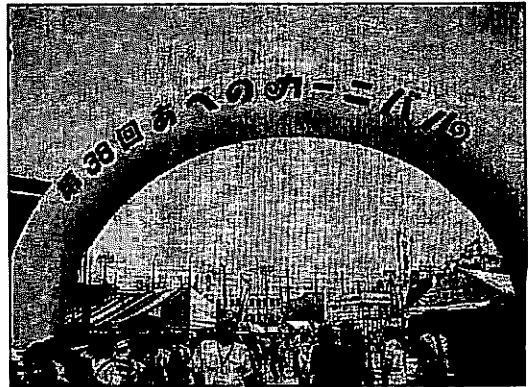
\*\*\*\*\*

平成23年10月10日（月）午後1時～5時、安倍野区民祭りである「あべのカーニバル」が晴天の元、開催されました。〈サロン・あべの〉10月の会いは「あべのカーニバル」会場のなんでも市通りに「さろん亭」を開店しました。今年で第38回となる「あべのカーニバル」です。毎年8月に開催されていましたが、今年は10月開催に変更されました。気になったのはやはり当日の天気です。この日は、秋の気配が感じられる良い天気と

当日の天気です。この日は、秋の気配が感じられる良い天気とお客さんが立ち止まって掘り出

なりました。当日の正午前から、「さろん亭」の開店準備のため、「あべのカーニバル」の会場である市立工芸高校のグラウンドへ向かいました。グラウンド内の「なんでも市どおり」の中では多くの店が出店します。その一角に赤と白のラインのテントの「さろん亭」では、皆さんから提供していただいた品物がところ狭しと並べられていきます。

「さろん亭」の開店準備中も、



し物がないか、あるいは、お買い得な品物はないかと品定めがなされます。例年、午後3時から開店なのですが、今年は午後1時から開店でした。また祭日でもあり、午前中にあびこ筋でパレードなどもあったからか、こども達や男性の姿も多く見られ、その人波でお向かいの店が見えなくなるほどの人出となっていました。

そして午後1時、いよいよ「さろん亭」が開店しました。店頭においてお客さんとの値引き交渉など、真剣なやりとりが交わされます。多種類の品物の中でも石鹸やタオルなどは、まとめ買いをされる方もおられ毎年大人気商品となっています。

グラウンド中央では、地元の中学校などの吹奏学部の演奏が流れ、「さろん亭」を盛り上げてくれます。店頭には売れるごとに奥の品物を手前に並べて、お客さんが選びやすくして、ほとんどの商品が売れてゆき嬉しいかぎりです。そして無事に閉店となりました。

毎年のことなのですが、品物を寄贈していただいた方、土曜日の値札付けや品物の搬入や当日の販売のお手伝い、後片付けなど本当に多くの皆さんにお世話になりました。

た。また、いろいろなおやつとの差し入れやカンパをいただきました。有り難うございました。今年も多くの皆さんに支えられた「さろん亭」でした。  
(山村貴司)

### サロン・あべの毎月の感謝

今年も多くの皆さま方にサロン活動をご理解いただきまして、ご支援、ご協力を賜りました。

あべのカーニバルのなんでも市に「さろん亭」を出店できましたこと、感謝申し上げます。

ありがとうございました。

売上金48,4490円

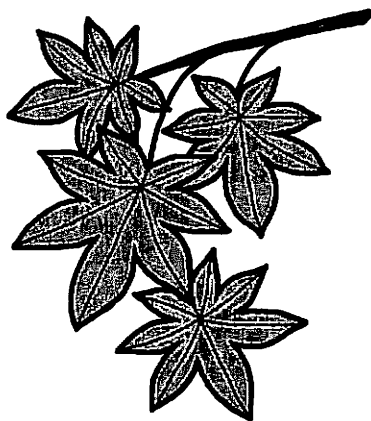
○カンパ、お菓子、バザー用品のご提供と、サロングッズのお買い上げ、またさろん亭の販売や値段付け等のお手伝い、ありがとうございます。

安達尚子、石田美禰子、伊勢村和子、井上礼子、  
奥田久子、加賀谷正(ご家族)、風智恵子、  
神谷君栄、蔵田均、小西京子、目中和子、  
高尾澄男、高橋幸子、竹村定子、竹下洋子、

千葉政子、辻本輝子、堤あやか、手島八重子、  
富田慶子・十一、中村宣子、久木浩、  
表谷恵美子、堀隆三、南元子、

舞洲ビームライフクラブ(代表・阪口広)、  
彦由達雄、松村美鈴、松村芳雄、宮脇信子、  
本井守、山村貴司、山村久子、その他の方

(敬称略)



## 美智子のこんな話

岸田美智子

### 高齢団地の「保健室」好評

10月29日の朝日新聞の朝刊に、とっても良い発想で福祉と医療の連携事業の紹介が掲載されていて、元気をもらいました。この事業は、「暮らしの保健室」という名称で東京都新宿区の都営住宅「戸山ハイツ」1階、商店街の空き店舗を利用し、今年の7月から運営が始まりました。

毎日くるお年寄りは、自分や家族の健康についての悩みを解決したり、立ち寄って安心感を得たりしているそうです。この「保健室」では、看護師やボランティアと気軽に話ができます。時間帯によっては、体をほぐしてくれる看護師や薬剤師もいます。利用者は「病院に行っても消えない不安感

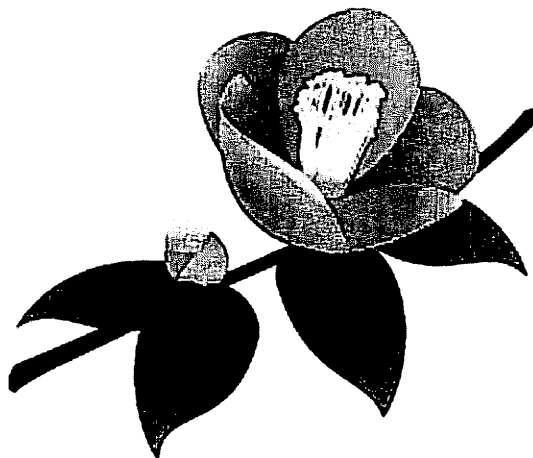
がなくなり助かっています。」という声も出ているそうです。相談内容は他にも「施設に入るべきか」「病名を知らされたが、どう向き合えばいいのか」などという、深刻な相談もあるそうです。

この「保健室」の仕切りのある場所で、看護師たちが相談にのったケースは、この3ヶ月で約120件にものぼりました。

この事業の趣旨は、住み慣れた家にい続けることを支援する施設がどうしても必要だという考えだそうです。そして、この事業は厚生労働省の在宅医療連携拠点モデル事業に採択され、実現しました。この「保健室」の相談や、訪問の予約は不要で、利用者は団地の住民に限らず利用できます。

この「保健室」には、オーブンキッチンや広々としたトイレなども備えられています。

このような「保健室」なら、私たち障害者も急に体の調子が悪くなった時や、介護に困った時などにもありがたい場所になりそうです。思わず、私の地域にも出来て欲しいものだと思いますし、作っていきたいものだとつくづく思った新聞記事でした。



# 当事者学 当事者研究

先日、不登校の親の会の人たちに呼ばれて講演をした。親の会とはどのようなものか、自助グループの働きは何かといったテーマで話すようにと言われたのだが、不登校についてよくわかっていない私は、自助グループの一般論を話すつもりだった。

いろいろ話したなかで「当事者学、当事者研究」という話題が、もっとも親の会の人たちの注意をひいたようだった。「これはおもしろい」という反応だったのである。

正直いって、私には意外なことだった。というのも「当事者学、当事者研究」という考え方があると紹介しただけで、その詳しい中身については、ほとんど触れなかったからである。にもかかわらず、その言葉を聞いただけでピンとくるものが親の会の人たちにはあったようだ。

当事者学とは、当事者が自分たちについての学問をつくるということ、当事者研究とは、そのための研究だといって良いだろう。実際には身体障害および精神障害の人たちがすでに実践している。

それについて少しだけ紹介しただけでも、すでに反応があったということは、すでに不登校の親たちの間で、当事者学、当事者研究を始める機が熟していたということではないだろうか。学問が、もはや学者とか研究者と呼ばれる人たちによってのみ行われる時代は終わったのかもしれない。それは主としてインターネットなどの最先端の情報技術が、大多数の市民レベルにまで利用可能になったということと関係があるのではと私は考えている。

学者とか研究者と呼ばれる人たちの「特権」の一つは、その著作を出版し、多くの人に影響を与えられるということにあった。しかし、その「特権」もインターネットの普及により無くなりつつある。また研究者どうしのつながりにより、遠くの人とも情報を交換できるということも、彼らの「特権」であったが、これもまたインターネットによってある程度、誰にでもできることとなった。

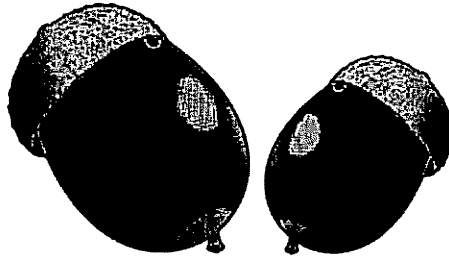
つまり情報を発信し、多くの人と情報を交換し、考えを発展させていくことは、学問をつくっていくうえで不可欠なものだが、以前は限られた人にしか、それはできなかった。しかし、それが多くの人にも可能になった時代を私たちは迎えているのである。

講演を依頼されてから調べてみると、不登校や不登校の親たちの周りには、ずいぶんたくさん研究がある。不登校には学問的な関心を引くものがあるのだろう。しかし、そこでは不登校や不登校の親たちは常に外（そと）の人たちによって語られているのである。もちろん、不登校の本人や親たちの「声」を含んだ研究もあるが、その分析はやはり外の人の目によってされている。

では、いったい不登校とは何なのか、それを親たちは、どう考えるのか、どうとらえたいのかという肝心のところは、外の人の研究では何もわからない。それは親たちが、ときには不登校の本人たちもまじえて、本気で考えられない。その過程が当事者研究になり、その結果が当事者学となる。

「そんなこと、いままでもやってきたのではないか」というと、それはそうなのだが、違うの

は、それを学問とみることである。職業的な学者とか研究者がやってきたこと、積み上げてきたことと同等のことが、当事者にもできるし、またやっていかなければならないと当事者が気づきはじめてということ。それが新しい。時代は、もうそこまで来ているのである。(知)



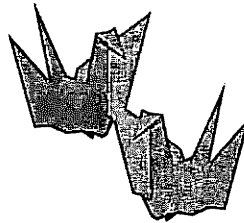
## 晴れのち晴れ

今西美奈子

### ■「デイサービス」

えっ？恵雄さんのピンチヒッターなんてそんなプレッシャーな！！と思ったのですが、急な事らしいからお断りしては困られるかも？と、恥ずかしいけれどペンを執りました。

転居前の市の医師に転居後も引き続いて診て貰っていた私は、医師とケアマネさんの「だんだん機能の衰えが進むことはあってもよくなることはないのだから、住む地域と関わっておく方がよい」というアドバイスで、掛かり付け医もすぐ近くの医院の医師にお願いし、デイサービスセンターへも週に1度ですが通い始めました。デイサービスは高齢者を幼児のようにお守りしてくれるところという先入観がありま



したので、少しためらいを持ちつつ“お試し”という一日に参加しましたら、陽あたりの良い広い部屋に40人ほどのお年寄りが3列のテーブルに着いて居られ、10時にラジオ体操から始まる午前の部では、歌クラブ、手芸、書道、絵画等自由参加のサークルに参加し、午後は何班かに分かれて

リハビリ体操で、えい、やあ、と剣道さながらに棒を振り下ろしたりしています。入浴も広い浴槽や特殊浴槽もありますが、今のところ自宅で入れますので利用はしていません。

夫の「楽しんで来たら」に甘

えて、書道を楽しみ、あげ膳すえ膳のお昼、おやつ付きという贅沢な一日ですが、心豊かなお年寄りや介護士さんたちとの交流を楽しんでいます。

申村かすみ

# 家族でアメリカ!

## ケンタッキー州滞在記

25

“Buy One, Get Two!” (一つ買って二つもらおう)

アメリカではセールといっても値下げでなく、同じ金額で何個ももらえることがよくあります。それはもう30年前から、セール中のマクドナルドでうっかり人数分を注文して、倍のバーガーと飲み物の山に友達と途方にくれたことがありました(また、そこで捨ててはもったいないと困るのが日本人です)

最近では日本でも『もう一個』サービスをみかけますが、食べ物でなく家具や服など、場所をとらずに置いておけるものが対象かと思いま

す。それが本場アメリカではなんと、車まで“Buy One, Get Two!”。

駐車場所に困らずに車を2台買えるとは、さすが広さが違うと感心したものでした。

また滞在中に驚いた広告といえば

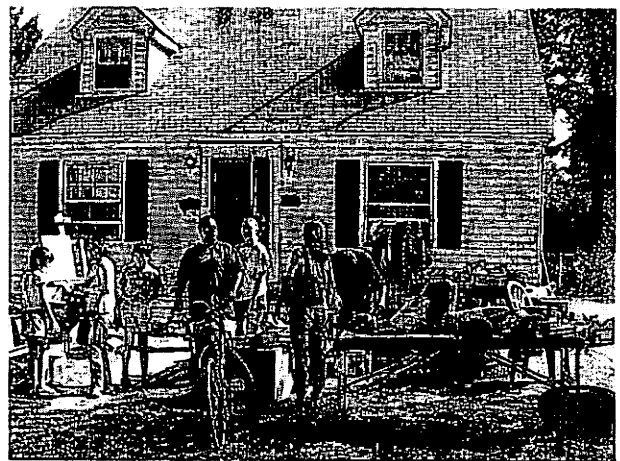
“Buy Now, Pay Two Years Later!” (お支払いは2年後!)

オーディオや車など高額な商品を頭金もなしに2年後?と、半年で帰る私たちには関係ないものの興味津々でした。でも先日みかけた記事によると、見かけの売り上げは伸びたものの、その後の不況でずいぶんと未収に終わっているとか。ですよー?

そんな豪快なイメージのあるアメリカですが、ガレージセールと称して不要品のやりとりが盛んなのもご存知の通りです。

到着直後、あちこちの家のガレージセールを回って主人の勉強机を手に入れました。開催宅と日時はタウン誌の広告やスーパールの掲示板で知ったり、ドライブ中の道沿いに手書きの看板をみつけて寄り道することもありました。

目指す家にたどり着くと、屋外にドーンと不要品Ⅱ宝の山が広げられています。その家の子どもがレモネードを売って小遣い稼ぎをしてい



ガレージじゃなく前庭(ヤード)セールですね。左端の私とコウジ、サキは何を選んでは?



主人の机、椅子とセットで10ドル!(当時で1,100円位?) 帰りに売ってきました。

るのもアメリカらしい光景です。長女のサキは可愛いものを探してご満悦、カズキとコウジはもつぱらレモネードを楽しんでいました。

慣れない街で、そんなことが出来たのもレキシントン市の地図が分かりやすいからです。

大学を中心に放射状の大通りが広がり、住所は基本的に

①その大通りのどれか

②横道の名前

③番号

で出来ています。交差点には横道の名前が出ていますから、大通りをドライブしながら横道で曲がり、あとは番号を順に辿って到着！ちなみにポストや表札には住民の姓でなく、家の番号が出ています（なので仲良しのお隣さんでも姓は知らなかったりするとか）

ただし、家探しがいくら案でも日本の感覚で『ぐるっと一回り散歩』を試みると大変です。

住宅街はたいがい行き止まり（防犯？）、通り抜けて隣の通りに出る様に出来ていないからです。

ジョギングが趣味の主人、新しいコースを適当に試すのが好きなのですがレキシントンでは何度も迷い、『撃たれるからやめなさい』と住

民に諫められてからは大通りだけ走る様になりました。でも大通りは大通りで、他に歩行者のいない高速道路の様な道。撃たれず轢かれずに帰ってこられて本当に良かったです。

〈ガレッジセールな映画〉

「トイ・ストーリー2」（1999年）

連れ去られた仲間、カウボーイ人形ウッディを助け出せ！おもちゃの友情と冒険にワクワクの名作アニメです。



## お知らせ

### <サロン・あべの>12月の出会い

○内容：年忘れ昼食会

「韓国料理を楽しみませんか」

○日時：12月3日（土）集合・午後1時

○場所：コリアンキッチン シジャン

天王寺ミオ10階

[大阪市天王寺区悲田院町10-29

TEL06-6770-1223]

○会費：2000円（予定）

○申込み締切日：11月30日

○問合せ先と申込み先：

TEL06-6691-1028（富田慶子）



12月はどこのサロンの、  
どのテーマが  
お気に入りですか。  
いい出会いしませんか。

■「サロン淀川」12月の出会い

日時：12月18日(日)午後1時30分～4時  
内容：「宮城県石巻で作ったベビーカステラ」  
～宮城県石巻で好評だったベビーカステラを  
サロンで作り、災害について話し合いませんか～  
進行：窪田新一氏(サロン淀川代表)  
場所：「やすらぎ」大阪市淀川区三国本町2-14-3  
会費：なし  
問合せ先：淀川区社協TEL06-6394-2900

■「サロンにしよど」12月の出会い

日時：12月17日(土)午後1時30分～3時30分  
内容：クリスマスパーティー  
場所：「ふくふく」西淀川在宅センター  
会費：なし  
問合せ先：中本TEL090-9864-9678

■「サロンにし」12月の出会い

日時：12月10日(土)午後2時～4時  
内容：クリスマスコンサートを楽しもう!!  
～キーボード演奏で楽しい歌など盛り沢山～  
ゲスト：「あふろでいーて」ボランティア演奏グループ  
会費：なし  
場所：西区在宅サービスセンター「にしながほり」  
[大阪市西区新町4-5-14、TEL06-6539-8075]  
問合せ先：宮脇淳TEL090-3949-6973]

■サロン「アイ」12月の出会い

日時：12月10日(土)午後1時30分～4時  
内容：サロン「アイ」同窓会  
～しばらくサロンに参加してない方、「小さな旅」  
に参加している方、ご参加を～  
場所：「おかちやま」区社協、2階ボランティアルーム

[大阪市生野区勝山北3-13-20]

会費：500円(小学生以下無料)  
問合せ先：生野区社協ボランティアビューロー  
TEL06-6712-3101

■「てくてくすみよし」12月の出会い

日時：12月10日(土)午前10時30～午後三時  
内容：クリスマス会  
場所：あびさんサロン  
会費：1000円(プレゼント500円でいど)  
問合せ先：山本篤江TEL06-6692-8411  
携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」12月の出会い

日時：12月4日(日)午後1時30分～4時  
内容：「気がつけば 心は自由」  
～歳をとるほど人生は楽しい～  
ゲスト：南光仁子さま(全国わたぼうし語り部  
コンクール、グランプリ受賞)  
場所：鶴見区民センター3階  
[大阪市鶴見区横堤5-3-15]  
会費：なし  
問合せ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)  
TEL06-6913-7070

■「サロンいたみ」12月の出会い

日時：12月8日(木)午後2時～  
内容：クリスマスコンサート  
ゲスト：グループ「ハーフナイン」  
場所：伸幸苑伊丹市寺本6-150]  
問合せ先：安藤れい子TEL072-784-1718

○「サロン・あべの」紙304号のお詫びと訂正

- 1、誤、村木三代→正、村木三代子。
- 2、2頁上段、「赤とんぼ」の歌詞について。  
誤、姉を思い出して→正、ねえや(現在はお手伝いさん  
を思い出して)
- 3、8頁「サロンにし」さんの場所について。  
誤、大阪市立西区民センター、大阪市西区北堀江4-2-7、  
TEL06-6531-1400  
正、西区在宅サービスセンター「にしながほり」、  
大阪市西区新町4-5-14、TEL06-6539-8075

<サロン・あべの>Vol.305 発行：平成23年(2011年)11月19日 定価¥100  
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆  
事務局：〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
TEL・FAX06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの00950-9-26941  
印刷：セルフ社〒546-0044東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F06-6719-8212  
ホームページ：http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/「サロン・あべの」でも検索できます